

東 大 阪 市

中核市・東大阪の誕生！  
～まちづくりの新たなステージへ～



中核市・東大阪の誕生

昭和42年2月、布施・河内・枚岡の三市合併によって東大阪市が誕生してから38年。本市は平成17年4月1日に中核市へ移行し、まちづくりの新たなステージへ一歩を踏み出しました。

中核市制度は、人口30万以上を有し、かつ人口50万未満の市の場合にあつては、面積100km<sup>2</sup>以上を有することを法定要件とし、政令指定都市以外の都市で規模・能力等が比較的大きな都市について、その事務権限を強化し、住民に身近な行政はできる限り住民の近くで行うという、地方分権を推進するための制度です。東大阪市は全国で36番目、大阪府内では堺市、高槻市に続いて3番目の中核市となりました。

中核市になるまで

松見正宣東大阪市長は、平成15年第1回定例会市議会での市政運営方針の中で、中核市移行を目指すことを表明しました。16年4月には、中核市指定の申出について市議会の議決、同年5月、大阪府議会において同意の議決を得ました。同年8月23日に松

見市長が麻生総務大臣に「中核市の指定に係る申出」を行い、10月22日に「東大阪市を中核市に指令する政令」が閣議決定、10月27日に政令公布されたことにより、本市が中核市へ移行することが正式に決定されました。

中核市になると？

中核市への移行により、約1300の事務が大阪府から本市に移譲されました。

移譲された主な事務は以下のとおりです。

- ①民生
  - ・ 社会福祉法人の設立認可及び指導監督
  - ・ 身体障害者手帳の交付
  - ・ 母子・寡婦福祉資金の貸付 など
- ②保健衛生
  - ・ 小児慢性特定疾患医療費の支給
  - ・ 動物の愛護に関する事務 など
- ③環境
  - ・ 騒音・悪臭・振動の規制地域の指定 など
- ④都市計画・建設
  - ・ 屋外広告物の設置制限
  - ・ 市街化調整区域内の開発行為の許可 など
- ⑤産業・経済
  - ・ 計量法に基づく事務
- ⑥教育
  - ・ 府費負担教職員の研修

これらの他、中核市になると保健所の設置及び包括外部監査制度の導入が義務付けられています（保健所については、東大阪市は昭和58年4月に設置済）。

## 中核市への移行を契機として

事務移譲等によって、市が一括して事務を行うことが可能となり、行政の効率化が図れ、また、市の主体的な判断の中で取り組める事務の範囲が拡大し、市独自のまちづくりの展開や、市民の声を反映したきめ細やかな業務が行いやすくなります。

また、東大阪市のイメージアップを図ることができ、市全体の活性化や経済振興への波及効果も期待されます。

しかし、中核市への移行は最終目的ではありません。本市がより「活力ある元気都市」として発展するため、移行によって与えられた権限を、まちづくりのツールとして最大限に活用して市民サービスの一層の向上を図ることが重要です。

そのため、東大阪市では、中核市への移行を契機に“分権時代における市民と協働のまちづくり”“市役所が変わります！”をキーワードとして、行政サービスセンターの機能拡充や、「花とみどりいっぱい運動」など、各般施策推進の先導的役割を果たすモデル事業を推進していきます。



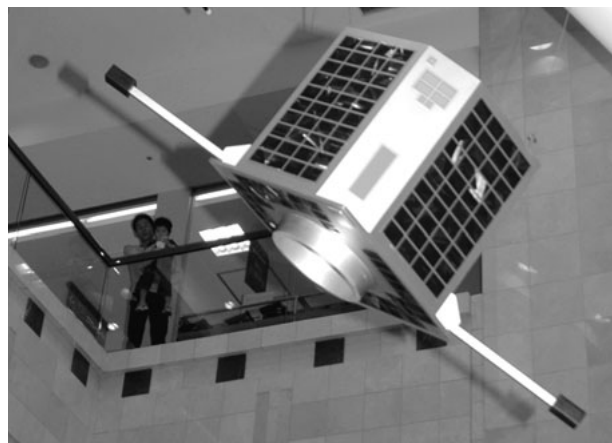
行政サービスセンター（若江岩田）

## 中核市移行記念事業

### ～「がんばろう!東大阪」イメージソングの募集～

平成17年4月1日の中核市移行記念式典において、松見市長より中核市移行記念事業の概要が発表されました。

「ラグビーのまち」「モノづくりのまち」東大阪をキャッチフレーズに、「夢と活力あふれる元気都



まいど1号（模型）

市・東大阪」の実現に向けて施策を展開してきている東大阪市ですが、かつて1万を誇った製造業事業所数が7千まで減少するなど、長引く景気の低迷による影響を強く受けています。

こうした中、市内中小企業者が中心となって人工衛星を打ち上げるプロジェクトが全国的にも注目を浴び、がんばる東大阪市民のシンボルとなっています。21世紀の東大阪市民を真に夢と活力あふれる元気都市にするために、市民一人一人が「がんばろう」という気持ちを奮い立たせ、周りの人たちにとっても元気の素となるような楽しい応援の歌を全国公募しました。

現在、募集期間を終えて選考中です。作曲は、東大阪市出身のエンターテインメントプロデューサーで全国的に人気があり、国民的に愛される曲を数多く手がけている「つくくろ」さんが無償で引き受けてくれています。選考された優秀作品は、東大阪宇宙開発協同組合が進める「まいど1号」に搭載することとしています。

## まちづくりの新たなステージへ

東大阪市は、市民との協働はもとより、産業界や大学など多くの方々と共に手を携え、まちづくりの新たなステージにふさわしい個性豊かな魅力あふれるまちを創造し、市民が「住んでよかった。これからも住み続けたい。」と実感できる「夢と活力あふれる元気都市・東大阪」の実現に向け全力をつくしていきます。